

中根学区ソフトボールOB 連盟メンバーによる地域の親睦 並びに各種スポーツ行事や各種行事への積極参加！



【中根学区】

■世帯数：4,493 世帯

■人 口：10,816 人

■面 積：0.985km²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・中根学区の 16 町内 14 チームからなるソフトボール OB 連盟のメンバーが学区内の各種スポーツ行事等に積極的に参加し、地域の親睦を図る。
- ・毎年ソフトバレーボール大会（年 2 回）、インディアカ大会（年 1 回）、3 世代交流グラウンドゴルフ大会（年 1 回）にメンバーの 3 割強が参加している。
- ・スポーツ以外の各種行事等にも積極的にメンバーが参加しており、放火事件が多発した時には、夜中から朝方にかけて防火パトロールを行ったこともある。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧

【アピールポイント】

各町内会長や各種団体長に任せられるメンバーが増え、中根学区連絡協議会においても 23 人の内 3 割強がソフトボール OB や現役で占められるようになったため、団体間の意思疎通がうまくでき、協議会の運営もスムーズに運んでいる。

2 きっかけ、背景

昭和 59 年の連盟発足当初は、ソフトボールの好きなメンバーが町内ごとにチームを作り、9 チームで活動を始め 1 年後には 15 チームとなった。その頃より学区内の各種行事に積極的に各メンバーが参加するように取り組んできた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

中根学区ソフトボール OB 連盟役員 約9人（会員合計 240人）

(2) 他団体との協力

中根学区体育委員会、中根学区連合子ども会

4 実施のスケジュール

S59年4月 9町内9チームにて組織（総当たりによるリーグ戦を行う）

S60年 15町内 15チームとなる

以後毎年 学区内の各種スポーツ行事や各種行事への積極的な参加を継続
現在は 16町内 14チームにて活動中



5 成果と課題

(1) 成果・効果

住民間の交流の深まり。各種スポーツ行事には毎回 120～150 人もの多くの人が参加している。

(2) 苦労した点

活動の担い手が不足。幼い頃に野球を経験した人が少なくなり、連盟の加入年齢を 30 歳から 26 歳に引き下げたが、どのチームも高齢化し加入者が減っている。

(3) 今後の課題・展望

活動資金の確保。バブル崩壊後、毎年作成する名簿の発行に協賛してくれる会社が年々減り、活動資金の確保が難しくなっている。各チームの負担を増やしてでも永く存続するよう努力していく。

(4) メッセージ・アドバイス

学区内での知り合いが多くなればなるほど、地域の防犯や各種行事にも関心を持つようになり、行事への参加の呼びかけも簡単にできるようになる。